

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科	
科目名称	子ども教育専門ゼミ I					授業形態	授業形態	演習	
科目コード	750114	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川田 耕太郎							ICT活 用	
授業概要	<p>本授業では、特別支援教育を専門的に研究していくための基礎的な力を養うことを目的とする。文献や資料の収集や整理などの情報活用方法を学ぶ。また、研究テーマに沿った先行文献と出会い、要旨まとめや他者との意見交換をとおして、自分の意見を表現する力や聞く力の向上を図る。学生が各自で課題を発見し、課題の解決に向けて、調査及び文献研究を進めながら探求する力を養う。</p>								
関連する科目	事前に、子ども教育プレゼミを履修しておくこと。								
授業の進め方 と方法	<p>基本的には演習形式で授業を展開する。前半は、各自の関心のある研究テーマに沿った先行文献等の要旨のまとめを行い、全体で発表し、質疑応答を通して、多角的に考察する力を養う。</p>								
授業計画 【第1回】	第1回 オリエンテーション 自己紹介及びゼミの進め方の確認								
授業計画 【第2回】	第2回 各自の研究テーマの確認 これまでの学びや経験から、自身の関心、より深く学びたい研究テーマについて発表する。								
授業計画 【第3回】	第3回 課題文献の検討 各自の研究テーマに沿った課題文献の検索や検討を行う。								
授業計画 【第4回】	第4回 文献の検討・課題の明確化 文献の要旨をまとめ、疑問に思うことや感じたこと、解決したい課題を明確にする。								
授業計画 【第5回】	第5回 文献の要旨・課題の発表 提示された文献の要旨と課題について話し合い、解決すべき課題を明確にする。								
授業計画 【第6回】	第6回 課題解決についての協議 課題解決に向けた方策を小グループで検討し、まとめる。								
授業計画 【第7回】	第7回 課題解決についての発表 それぞれでまとめた課題解決方法について発表し合い、意見交換を行う。								
授業計画 【第8回】	第8回 中間まとめ これまで行ってきたことの意義と今後の学習の見通しをもつ。								
授業計画 【第9回】	第9回 各自の研究テーマの確認 これまでの文献検討や学んできたことを振り返りつつ、より深く研究したいことを決定する。								
授業計画 【第10回】	第10回 各自の研究テーマに基づいた課題設定① 先行研究や先行文献の収集及び整理を行い課題を明確にする。								

授業計画【第11回】	第11回 各自の研究テーマに基づいた課題設定② 課題を明確にし、その解決を図るための研究計画を立てる。
授業計画【第12回】	第12回 情報の収集及び整理 先行研究や文献の情報を整理しつつ、自分の考えをまとめる。
授業計画【第13回】	第13回 情報の収集及び整理・まとめ・文章化 先行研究や文献の情報を整理しつつ、自分の考えをまとめ、他者へ伝えるために文章化する。
授業計画【第14回】	第14回 研究テーマに沿った報告 研究テーマに沿って課題や解決方法について発表し、質疑応答を行う。
授業計画【第15回】	第15回 研究テーマに沿った報告 研究テーマに沿って課題や解決方法について発表し、質疑応答を行う。
授業の到達目標	1. 文献の内容についてその要旨をまとめ、他者に伝えることができる。 2. 他者の考えを聞いたり、自分の意見を話したりして、新たな考えをもつことができる。 3. 先行研究や文献、発表と質疑応答をとおして、自分なりの問いと新たな学びへの意欲をもつことができる。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	先行文献を熟読し、要旨の理解と他者へ伝えることができるようにする必要がある。また、興味関心のある研究テーマに出会えるよう、様々な文献等にふれることが求められる。
授業時間外学習【復習】	発表時の他者との意見交換、アドバイス等を踏まえ、研究テーマ、研究内容、研究方法等について改善することが必要である。
課題に対するフィードバック	提出課題は、授業時に評価・解説を行う。
評価方法・基準	文献・情報収集への取組や発表、意見交換などを総合的に評価する。
テキスト	必要に応じて、図書、資料などを紹介する。
参考書	特に使用しない。
備考	15年間、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）、3年間、小学校に勤務。また、4年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、4年間、鹿児島市教育委員会学校教育課において特別支援教育担当指導主事として勤務した。